

復興支援ミュージカル「天狗のかくれ里」

連合福島が主催

冒険ミュージカルに感動の声！

～福島県内から500名を超える観客～



主催者代表挨拶をする浅川学連合福島副事務局長

連合福島主催による復興支援ミュージカル「天狗のかくれ里」は、8月9日(土)福島市公会堂において、県内各地から約500名を超える観客が集まり公演された。開演前に主催者を代表して、浅川学連合福島副事務局長は「東日本大震災の発生から3年5カ月が経過しようとしている中で、今日までの間、連合本部の災害ボランティアをはじめ、全国各地から届けられた多くの支援と暖かい激励は、福島県民にとって忘れられないものとなっている。

しかし、福島県の復興の現状は、時間の経過とともに、それぞれの地域において復興の課題が浮き彫りとなり、長期化する様相を呈している。まったく先の見えない避難生活を余儀なくされている方々を始めとして、多くの県民は、心身共に大きなストレスを抱えながら生活をしている。

私たち連合福島は、このような状況を踏まえ、いま私たちが復興支援策として何が出来るかを検討した結果、今回のミュージカルを上演することにした。ミュージカル『天狗のかくれ里』を通じて、環境と自然の大切さ、そして、生きる力、命の力について皆さんとともに考え、そのことが今後の福島県の復興の一助になれば幸いである。」



県内各地からミュージカルを観に詰めかけた観客の皆さん



熱のこもった演技で観客を魅了するミュージカル劇団の皆さん

と挨拶した。

ミュージカルの公演時間は2時間だったが、劇団員の皆さんの熱のこもった演技に魅了され、また引き込まれ、あっという間に2時間が過ぎてしまい、気が付いた時には感動の中でフィナーレを迎えていた。今回の公演に際し、ご協力頂いた多くの皆さんに感謝と御礼を申し上げます。